

## 5 最終需要による移輸入誘発

県内で発生した最終需要や、更にこの最終需要により誘発された各産業の生産活動に必要な原材料などは、全てが県内で賄われる訳ではなく、県内にないものや県内の生産活動だけでは賄いきれない需要については、県外から移輸入されることとなります。

このように、最終需要により直接・間接に誘発される移輸入を移輸入誘発額といいます。

移輸入誘発額について最終需要の項目別にみると、移輸出が1兆4,574億円で最も大きくなっています。次いで、民間消費支出が9,962億円、県内総固定資本形成(民間)が2,856億円などとなっています。(表25)

表25 最終需要と移輸入誘発

	移輸入誘発額(百万円)		移輸入誘発依存度(%)		移輸入誘発係数		
	平成23年	平成17年	平成23年	平成17年	平成23年	平成17年	
和歌山県	家計外消費支出	46,636	73,754	1.5	2.7	0.524535	0.557317
	民間消費支出	996,225	972,630	32.2	35.4	0.486275	0.478273
	一般政府消費支出	167,228	144,175	5.4	5.3	0.219512	0.198828
	県内総固定資本形成(公的)	88,469	80,384	2.9	2.9	0.435130	0.418679
	県内総固定資本形成(民間)	285,636	290,732	9.2	10.6	0.634907	0.613686
	在庫純増	51,558	-2,313	1.7	-0.1	0.813133	-0.383469
	移輸出	1,457,448	1,186,327	47.0	43.2	0.538570	0.442737
	最終需要計	3,098,494	2,745,689	100.0	100.0	0.489377	0.439845

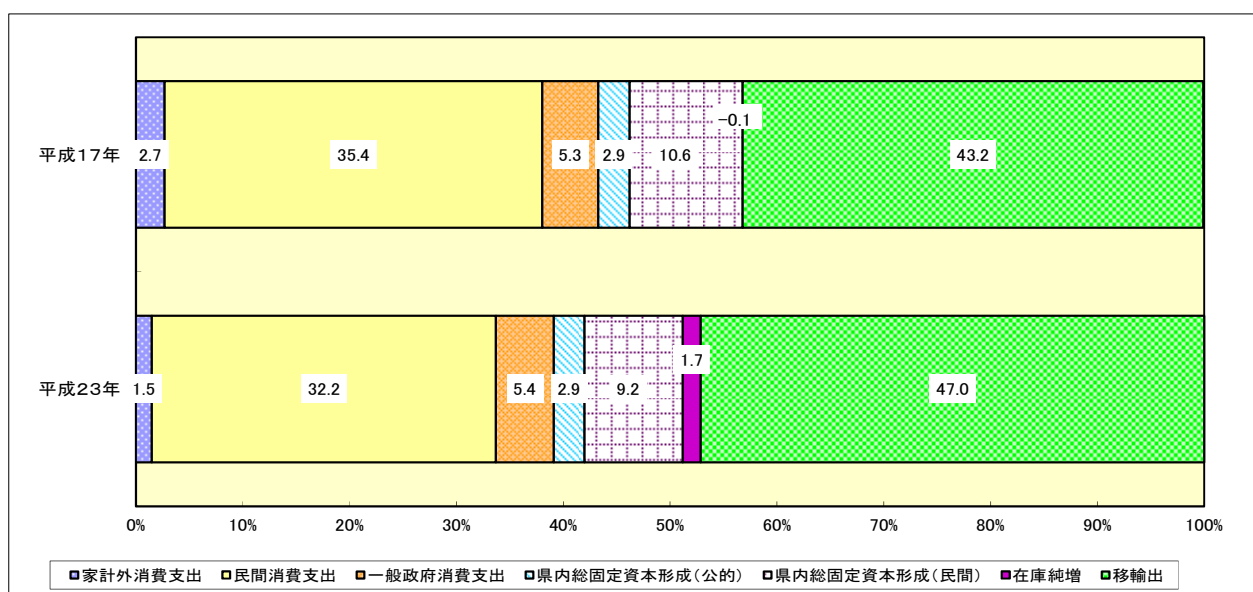
(注) 最終需要計には調整項を含みます。なお、平成17年の移輸出には調整項を含みます。

次に、各産業部門の移輸入が、どの最終需要項目によりどれだけ誘発されたかの割合を示している移輸入誘発依存度をみると、移輸出の割合が最も高く47.0%となっており、次いで民間消費支出が32.2%、県内総固定資本形成(民間)が9.2%などとなっています。

平成17年からみると、移輸入誘発額の伸びてきている移輸出の割合が上昇してきており、最終需要項目全体における移輸入額を誘発する要因の多くを占めていることが下の図22からも解ります。

また、他の項目で移輸入誘発依存度が上昇しているのは一般政府消費支出と在庫純増で、いずれも最終需要額の増加により移輸入額を誘発する要因が増していることが解ります。

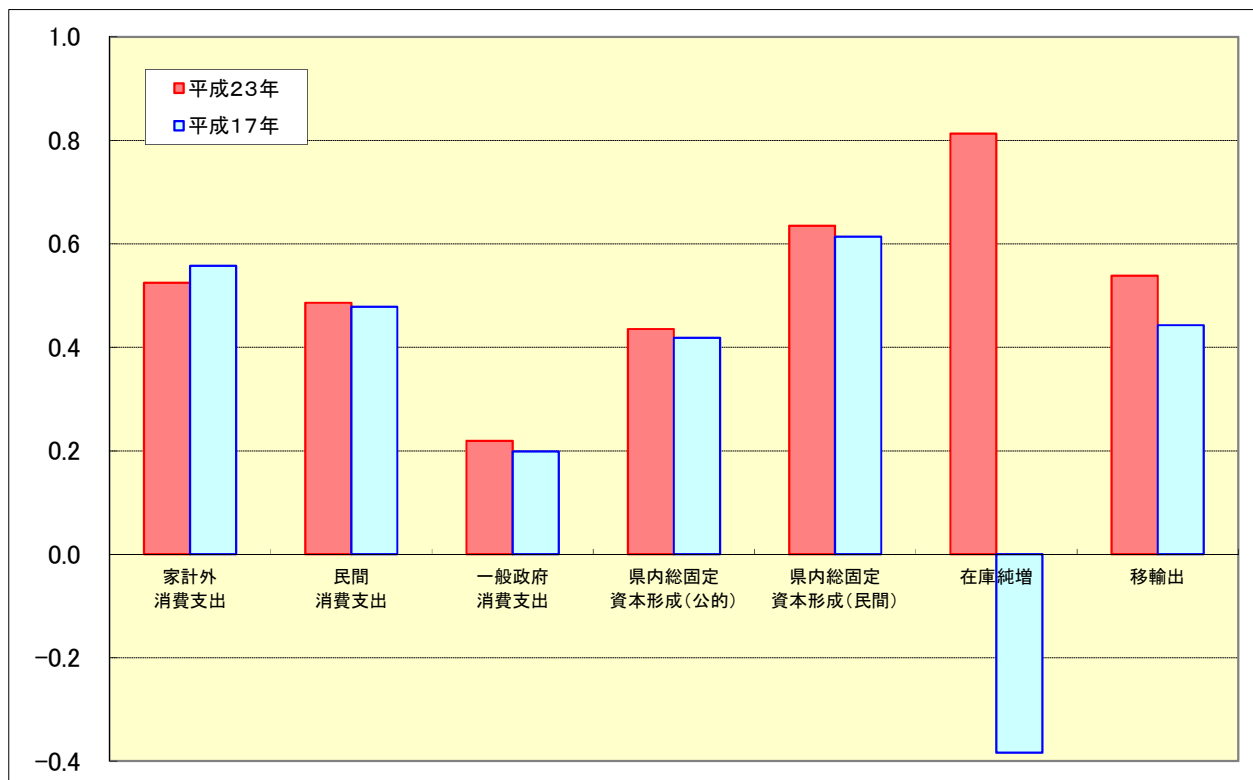
図22 最終需要項目別移輸入誘発依存度



1 単位の最終需要によって、移輸入がどれだけ誘発されるかを表している移輸入誘発係数を最終需要項目別からみてみると、在庫純増が 0.813133 倍で最も高く、次いで県内総固定資本形成（民間）が 0.634907 倍、移輸出が 0.538570 倍などとなっています。

平成 17 年と比較すると、最終需要全体でも移輸入率の上昇により増加していることが解ります。（表 25, 図 23）

図23 最終需要項目別移輸入誘発係数



## 解説

**移輸入誘発額** … 最終需要項目別移輸入誘発額合計 = 移輸入額

**移輸入誘発依存度** … 移輸入誘発依存度 = 各最終需要項目別移輸入誘発額 ÷ 最終需要項目別移輸入誘発額合計

**移輸入誘発係数** … 移輸入誘発係数 = 各最終需要項目別移輸入誘発額 ÷ 各項目別最終需要額